

★ いわくに市議会だより

シー
See 議会

No. 61

令和4年2月発行

紙面のQRコードをスマートフォンなどで読み込んでいただくと、より詳細な内容をご覧いただけます。

「春のおとずれ」

狩山睦江氏撮影（写団「のら犬」所属）

目次(主な内容)

10月臨時会、11月臨時会、12月定例会の報告	2
新議長・副議長の紹介、議案の賛否	3
議員提出議案、特別委員会報告	4
一般質問	5～8

新しい委員会構成	9
常任委員会審査報告	10～11
3月定例会の予定	12
編集後記	12

「10・11月臨時会」と「12月定例会」の報告

10月臨時会

10月18日（月）、岩国市議会臨時会が開催されました。

まず、公用車の事故に関する専決処分報告が2件なされ、次に、議案として令和3年度岩国市一般会計補正予算（第7号）が上程されました。

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症に係る対応策及び本年8月、9月の大雨によ

る災害復旧などに必要な経費を計上したもので、総務常任委員会、教育民生常任委員会、

経済常任委員会、建設常任委員会に付託されたのち、休憩中に、それぞれの委員会を開催し、慎重な審査がなされました。

本会議再開後、委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告があり、全会一致で原案のとおり可決され、閉会しました。

11月臨時会

11月16日（火）、岩国市議会臨時会が開催されました。

議長が辞職に伴い、議長選挙が行われ、投票の結果、桑原敏幸議員が当選されました。

続いて、副議長の辞職に伴い、副議長選挙が行われ、投票の結果、石原 真議員が当選されました。

次に、4つの常任委員会及び議会運営委員会において、委員

の任期満了に伴い、新委員を選任し、委員長、副委員長を発表しました。

また、議会選出監査委員の辞職に伴い、姫野敦子議員を監査委員に選任する議案が提出され、退席した12名の議員を除く、出席議員（17名）全員が賛成し、可決しました。

次に、議会運営委員会が閉会中に調査することができる特定事件について、議会で付議され、閉会しました。

12月定例会

12月定例会は、11月29日から12月23日までの日程で開催されました。

初日には、定期監査の結果に関する報告など監査報告が4件、公用車の事故に関する専決処分の報告が2件、令和3年度岩国市一般会計補正予算（第8号）など22議案が提出され、議案はそれぞれ、総務常任委員会、教育民生常任委員会、経済常任委員会、建設常任委員会に付託されました。

一般質問は12月8日・9日・10日・13日の4日間の日程で23人の議員が登壇し、不登校児童・生徒への対応、SDGsへの取組、電子母子手帳の導入などについて、活発な議論が交わされました。

12月13日には、子育て世帯への臨時特別給付金の支給に係る経費の追加計上を行う令和3年度岩国市一般会計補正予算（第9号）が上程され、原案のとおり全会一致で可決されました。

休会中の12月15日・16日・17日・20日の4日間において、経済、教育民生、建設、総務常任委員会が開催され、付託された議案について慎重な審査が行

われました。

最終日には、各常任委員会の委員長から、委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告があり、議案22件の全てが、原案のとおり全会一致で可決されました。

なお、継続審査案件であった請願第2号については、教育民生常任委員会より、引き続き継続審査の申出がなされ、承認されました。

次に、子育て世帯への臨時特別給付金の支給に係る令和3年度岩国市一般会計補正予算（第10号）が上程され、原案どおり可決されました。

続いて、都市活力再生・推進調査特別委員会により、岩国錦帯橋空港、JR岩国駅、JR南岩国駅などをそれぞれ軸とする都市拠点の活力再生に向けた調査報告がなされました。

次に、議員提出議案「米危機の改善を求める意見書」が提出され、賛成多数で可決されました。

最後に、各常任委員会から閉会中に審査するための特定事件について申出があり、議決され、閉会となりました。

岩国市議会議長 桑原 敏幸

新議長・副議長紹介



■ 議長 桑原 敏幸
令和3年11月16日就任



■ 副議長 石原 真
令和3年11月16日就任

12月定例会の議決事件に対する各議員の賛否を掲載しています

【全会一致で可決された議決事件】

【市長提出議案】

- 令和3年度岩国市一般会計補正予算（第8号）
- 令和3年度岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 令和3年度岩国市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和3年度岩国市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和3年度岩国市水道事業会計補正予算（第1号）
- 令和3年度岩国市工業用水道事業会計補正予算（第1号）
- 令和3年度岩国市病院事業会計補正予算（第1号）
- 岩国市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例
- 岩国市一般廃棄物処理施設設置条例の一部を改正する条例
- 岩国市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
- 岩国市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 岩国市職員の特殊勤務手当に関する条例及び岩国市立病院及び診療所の使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例

- 岩国市手数料条例の一部を改正する条例
- 岩国市開発行爲等の許可の基準に関する条例の一部を改正する条例
- 岩国市小売市場条例を廃止する条例
- 黒磯地区いこいと学びの交流テラス造成工事請負契約の締結について
- 市道小瀬28号線災害復旧工事請負契約の一部変更について
- 指定管理者の指定について【サンライフ岩国】
- 指定管理者の指定について【道の駅「ピュアラインにしき」】
- 指定管理者の指定について【錦憩の家】
- 指定管理者の指定について【錦高根総合交流促進施設「清流の郷」】
- 指定管理者の指定について【らんかん高原本郷野外活動交流施設ほか2件】
- 令和3年度岩国市一般会計補正予算（第9号）
- 令和3年度岩国市一般会計補正予算（第10号）

【本会議で賛否が分かれた議決事件】

(○=賛成、×=反対)

件名	議決結果	憲政会							公明党議員団	共産党	市民	同志会	市政改革	二葉	志誠	リベ	新政	創志	清水	行動	御楯									
		片岡勝則	貴船齊	桑原敏幸	武田伊佐雄	田村博美	中村雅一	松川卓司	松本久次	河合伸治	桑田勝弘	越澤二代	中村豊	大西明子	小川安土	長岡辰久	重岡邦昭	広中英明	石原真	山本辰哉	瀬村尚央	細見正行	植野正則	片山原司	丸茂郁生	姫野敦子	藤重建治	藤本泰也	矢野匡亮	広中信夫
米危機の改善を求める意見書	可決	×	×	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○

※議長（桑原敏幸）は採決に加わりません。

※会派名の省略は次のとおり 共産党=日本共産党市議団、市民=市民クラブ・草の根、市政改革=市政改革クラブ、二葉=二葉会、志誠=志誠いわくに、リベ=リベラル岩国、新政=新政和会、創志=創志会、行動=市民目線で考え行動する会、御楯=御楯會

議員提出議案について

12月定例会において、以下の1件の議員提出議案が可決されました。

1 議員提出議案第6号 米危機の改善を求める意見書

起立採決を行い、賛成17名、反対12名で、当該議案を賛成多数で可決しました。



《提案説明》日本共産党市議団 小川安士議員

米需要の消失による米危機の中で、苦しむ国民と農家への支援のために、1. 市場に滞留する在庫を政府が買い取るなどして市場から隔離し、需給環境を改善するとともに米価下落に歯止めをかけること、2. 国内消費に必要な約77万トンの外国産米（ミニマムアクセス米）について、国産米の需給状況に応じた輸入数量抑制を実行することを強く求める。

都市活力再生・推進調査特別委員会

本特別委員会は、平成30年12月の設置以来、岩国錦帯橋空港周辺地区、J R岩国駅周辺地区、J R南岩国駅周辺地区、この3つの拠点を発展させることが、都市活力の再生につながり、その波及効果によって、周辺地域へも好影響を及ぼすものと考え、15回にわたり委員会を開催し、協議等を重ねてまいりました。

協議を重ねた結果、都市活力の再生には、居住者の増加による新たな消費の創出と持続可能な地域づくりが重要であると考え、以下の事項を要望しました。

「みんなが住みたくなるまち」を実現するために、本市独自の施策や魅力を積極的にアピールし、移住・定住政策を推し進めること。高齢者や子育て世代が安心、快適に生活できる住環境を整備し、地域公共交通と連携して、「コンパクト・プラス・ネットワーク」を目指したまちづくりを進め、今後計画されている英語交流センターや図書館機能を核としたにぎわい創出施設を中心に回遊性を高め、まちなか居住・定住の促進による新たな消費の創出と持続可能な地域づくりへとつなげていくこと。

以上をもって、本特別委員会の調査報告といたしました。



委員長	松川	卓司	委員	瀬村	尚央
副委員長	丸茂	郁生	委員	田村	博美
委員	石本	崇	委員	長岡	辰久
委員	貴船	斉	委員	姫野	敦子
委員	桑原	敏幸			
委員	越澤	二代			



新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

令和3年12月23日に、第11回委員会を開催しました。

今回は、本市の新型コロナワクチンの状況や新型コロナウイルス相談案内窓口の状況などについて調査しました。新型コロナワクチンの追加接種（3回目接種）の実施についても確認を行いました。

本特別委員会としましては、引き続き、市民の生命及び健康を守り、市民生活や経済への影響を最小限とするため、協議等を重ねてまいりたいと考えております。

委員長	細見	正行	委員	重岡	邦昭
副委員長	姫野	敦子	委員	長岡	辰久
委員	片山	原司	委員	松川	卓司
委員	貴船	斉	委員	丸茂	郁生
委員	桑原	敏幸			
委員	越澤	二代			



一般質問 市政を聞く

12月定例会では、23人の議員により、本市の地域振興、農業振興をはじめ、教育施策、福祉施策など多岐にわたる64項目の質問が行われました。

※紙面の都合上、質問と答弁の内容を要約して掲載しています。



会派代表質問



長岡 辰久
(日本共産党市議員)

問 強襲揚陸艦アメリカの寄港は整備目的に反していないか

米軍岩国基地への相次ぐ大型艦船の寄港は、「補給物資等の積卸しのためで、軍艦等の母港及び寄港地にならないよう」とした整備目的に反したなし崩しの運用である。市長は空母型に改修した「いずも」寄港に際し「港湾施設が整備された本来の目的から逸脱した運用が行われることのないよう」国に要請している。また、今回から「定期的」な寄港と、定期的という言葉が要請文書に入った。なぜ、いつから、どのような経緯で変更したのか。

答 一度も入港してはいけないという姿勢ではない

我が国を取り巻く環境や市長も変わったので変更した。

問 文科省通知後の校則見直しについて

答 子どもや保護者及び地域等の意見を聞き、見直しを成長につなげる

会派代表質問



貴船 斉
(憲政会)

問 旧岩国地区消防組合消防庁舎跡地について

答 利用計画は未定。数年間は現状のままになる。

庁舎建物は老朽化し、耐震性も不足しているため、大規模な改修を要する再利用は困難。さらに同地は「土砂災害警戒区域」(イエローゾーン)に指定されており、新たな公共施設として活用するのも困難。公共施設の今後の方向性を定める「公共施設等個別施設計画」の策定を待たなければならぬが、同計画の策定は、地元住民等の意見を聞くワークショップをコロナ禍の影響で開催できず、当初、今年度末の予定が1年間程度遅れる見込み。同庁舎は解体し、跡地は現在庁内で立ち上げて「公共施設跡地等の有効な活用の促進に関する検討プロジェクトチーム」で売却も含め、総合的に慎重に判断する。同庁舎は数年間、現状のままとなる。

会派代表質問



越澤 二代
(公明党議員団)

問 子宮頸がんワクチンの積極的勧奨再開について

子宮頸がんは若い世代の女性が罹患するがんの中において多くを占めるがんであり、HPVワクチンを接種することで50%から70%防ぐことができるがんである。しかし約8年間にわたりワクチン接種への積極的勧奨が中止されていた。その後、本年11月に厚生労働省において、ワクチンの安全性や効果について検討され、積極的勧奨を再開する国の方針が変更された。岩国市の対応について問う。

答 接種対象者に個別勧奨を行う予定

来年度小学6年生から高校1年までの接種未完了の女子とその保護者に対して、円滑な接種のために必要な情報を個別通知するとともに、接種を判断するための情報が掲載されたリーフレットを郵送して個別勧奨を行う。



山本 辰哉
(同志会)

問 川西にあるスケートボード場の整備について問う。

川西にあるスケートボード場「岩国スケートパーク」の経年劣化が進み、複数の方から改修の要望を頂いている。現状では安全性が担保できる状況にないため、改善が急務と考える。今後の市の対応を伺う。

答 このたび、現地で聞き取り調査を行ったので、必要な対応を検討する。



植野 正則
(二葉会)

問 岩国市農業振興地域農用地整備計画の見直しが必要と判断した要因と、農家が抱えている問題点を解決できるような見直しとなるか問う。

答 整備計画見直しの要因は、本市農地の状況を総合的に判断した結果と全ての農振農用地のデータ化を進めるためである。見直しは10年後の市農地の姿を計画するもので、農家個別の希望に沿えるものではない。



中村 豊
(公明党議員団)

問 障害者も働き続けるといふ思いで就業する一般就労が望ましい。障害者の一般就労に向けての支援の取組、今後の方針について伺う。

答 障害者を雇用しようとする企業に対し、具体的な支援方法などの事例を踏まえた講演会を実施している。今後も障害福祉サービスなどの情報提供や関係機関と連携し、障害者の意向に沿った支援に努めていく。



矢野 匡亮
(湧水)

問 消防団員の自動車運転免許が、オートマチック車限定や平成29年3月12日以降に取得した場合、消防ポンプ自動車は運転できないため、準中型自動車免許取得経費等の全額助成に取り組みべきではないのか。

答 準中型自動車免許取得やオートマチック車限定解除にかかる経費を助成するなど、将来にわたる団員の確保が必要であると考えている。



大西 明子
(日本共産党市議団)

問 国保料の値上げを引き続き抑制することについて。

答 上げなければ収支が保てない状況となったときにも、急激な上昇とならないよう努めてまいらる。

問 本庁舎駐車場の1台当たりのスペースを広げることにについて。

答 今後、近隣で駐車場用地が確保できた場合には、安全対策や利便性向上など本庁舎駐車場の再整備について検討してまいらる。



河合 伸治
(公明党議員団)

問 マイナンバーカード普及促進のための支援の取組について伺う。

答 本庁及び各総合支所・玖珂支所では写真撮影やオンライン申請の支援を実施している。美川・本郷の各支所では実施していないが、今後、実施できるよう取り組む。また、10名程度の希望があれば出張申請も実施しており、地域性を考慮し、10名そろわなくても柔軟に対応していく。



広中英明
(市民クラブ・草の根)

問 本郷中学校に女子生徒を増やすためには本郷山村留学センターで女子中学生を受け入れる環境整備が必要と考えるがどうか。

答 山村留学センター運営委員会で女子中学生の受け入れ施設について、現在の施設の改修や新たな施設の建設の意見が出ている。引き続き地域及び小中学校と連携し、よりよい受け入れができるよう検討する。



田村 博美
(憲政会)

問 本市の街路樹について問う。

答 剪定により、紅葉のある景観が失われ、季節感を感じられないという意見と、落ち葉の処理に苦勞しているという意見とがあり、対応に苦慮している。今後は、みどりを守り育てるネットワークを活用し、市民協働の管理体制を構築し、街路樹等の緑を守り、育てる協働のまちづくりを実現したい。



片山 原 司
(二葉会)

問 錦帯橋を車椅子で渡ろうプロジェクトにおける取組方法について問う。

答 各界の知恵を結集して「誰もが渡れる錦帯橋」を目指し、社会福祉協議会を中心に岩国工業高校の生徒や市民や企業などを巻き込んだ協働となっている。車椅子の改良や補助機器の開発、また、車椅子を抱える・持ち上げる等の研究を重ねている。



藤 重 建 治
(新政和会)

問 道交法が改正され、大型トラクター等公道を走行するには大型特殊免許が必要となった。農業経営規模拡大を促進する本市として、免許取得費用の補助が必要ではないか。

答 関係機関とも協議しながら前向きに検討してまいりたい。

問 新規就農者への支援は就農から3年までで、営農法人等へ就職し、4年以降に就農した者は対象にならないが、一考を求める。

答 営農法人等へ就職し、4年経過以降に就農した者への支援ができるよう検討してまいりたい。



姫野 敦 子
(リベラル岩国)

問 4月から建て替えられる中央公民館。その中にある岩国図書館は市民にとって大切な学習の場。令和7年まで3年余り利用ができないが、その対策は。

答 公民館の近隣施設に図書館機能を移転させる方向で最終調整している。出張所は岩国供用会館、市民活動支援センターはフジグラにて利用できる。



石 本 崇
(御橋會)

問 美和町で建設が進む太陽光発電事業については、中国の上海証券取引所の公開情報等で、上海電力が事業を買収したとあるが、市の見解についてお尋ねする。

答 上海電力日本に照会したところ、回答はできないという返答であったが、この太陽光発電については、いろいろな懸念があると思いが、しっかりと県と市でウオッチし、想定外の建物が建設されぬよう、注視する。



藤 本 泰 也
(創志会)

問 合併処理浄化槽の維持管理費の地域差について。

答 地域差は最大で約24,000円。市としては独占禁止法に抵触するため調整できない。

問 合併処理浄化槽の維持管理補助金導入について。

答 財政負担等を考慮し、慎重に研究したい。

問 その他の質問項目(ホームページに掲載)生活交通バスについて現状と課題について日曜日運行について



桑 田 勝 弘
(公明党議員団)

問 ①南岩国駅周辺の雨水排水対策②黒磯地区「いこいと学びの交流テラス」のソフト事業充実の取組予定を問う。

答 ①現況の排水路の流下能力調査、商業施設周辺の流出解析を行っているが、その結果を踏まえ、排水路の改修計画、雨水貯留施設等を検討中。今後、意見交換会等を通じて整備の在り方を協議する予定。②令和5年度以降事業の協議・検討を行う予定。



丸 茂 郁 生
(志誠いわくに)

問 老朽化し、また、バリアフリーとなっていない藤生駅を改築し、周辺整備を行うべき。

答 JRに要望し、改築が行われる際には周辺整備も一緒に検討する必要がある。(地域交通課)

問 老朽化した室の木町の保健センターを改築する際には、本庁舎に近い場所に移転すべき。

答 改築する際には、場所を含め検討することになる。(健康推進課)

問 その他の質問事項・夜間に安全・安心に通行できる明るいまちづくりについて



小 川 安 士
(日本共産党市議団)

問 合併後の10年で農家も農地も3分の2に減り、今後はさらに減る。農業支援は、農家支援から食料安全保障策に切り替えて、持続可能な農業を実現するべきだ。

答 農業は衰退しているが、今がチャンスと捉え、しっかりと取り組みたい。農業そのものがSDGsの考え方に沿ったものであり、地域農業を守るようしっかりと支援したい。



重岡 邦昭
(市民クラブ・草の根)

問 柱島3島を未来につなぐため、5人の議員で柱島3島に赴き、各自自治会長、島民の方々と意見交換を行い、離島であるがゆえの買い物、通院といった本土との格差、基幹産業である漁業振興の遅れ、高額な渡船料金、水洗化の遅れ、インターネット環境の未整備等で若い人の移住が進まない。その対策を問う。

答 柱島3島を未来につなぐため、5人の議員で柱島3島に赴き、各自自治会長、島民の方々と意見交換を行い、離島であるがゆえの買い物、通院といった本土との格差、基幹産業である漁業振興の遅れ、高額な渡船料金、水洗化の遅れ、インターネット環境の未整備等で若い人の移住が進まない。その対策を問う。

問 新ごみ焼却場の売電収入等について問う。

答 市有林の資産価値と販売・植林計画を問う。



広中 信夫
(市民目線で考え行動する会)

問 植樹後20年経過の多田一〜三丁目の街路樹の諸課題について問う。

答 多田の並木通りは本市の中でも有数なものとの観点から、年間約450万円の予算にて、剪定等行っており、諸課題についても認識している。今回、地域が対応できない排水桝の応急的な清掃、根上がりの順次対応を行い、落ち葉の道路脇収集も検討する。今後の方針として「みどりの基本計画」により適切な景観を保ちながら地域住民の協力の下、市民協働のまちづくりのシンボルとして維持管理していく。



武田 伊佐雄
(憲政会)

問 高齢者生きいきサポート事業への制度移行について、対象年齢が70歳から75歳に引き上がるのに経過措置が半年程度では短い。対象年齢を段階的に引き上げるべきであると主張してきたが、改善はあるのか。

答 10月の評価委員会において、地域で聞き取りをしたが、特に不満の声やそれによる影響の声はないという発言を基に、変更はしない。



瀬村 尚央
(市政改革クラブ)

問 装港小学校の校庭上にある都市計画道路について問う。

答 該当区域に関しては、見直し予定区間となっている上に条件付きで建物を建てることは可能。

問 今後の装港小学校の在り方における方針について問う。

答 統廃合に限定した説明会ではなく、装港地区の発展や子供たちの教育環境の充実を目的にしつかり地元住民と対話を重ね協議していく。

自宅から市議会の状況を確認できます

市議会では、「いわくに市議会だより See 議会」のほか、市議会ホームページやケーブルテレビ「アイ・キャン」の放映など、自宅からでも議会の状況を知ることができます。

☆市議会だより See 議会

毎年2月、6月、8月、11月に発行し、「広報いわくに」と併せて配布しています。本会議での議案の議決結果、一般質問や、市議会特別委員会の活動報告などを掲載しています。



☆市議会HP

本会議、委員会の日程をはじめ、市議会の様々な情報を検索することができます。



☆本会議や一般質問のテレビ中継

ケーブルテレビ「アイ・キャン」でのテレビ生中継や当日夜は再放送で市議会を視聴できます。



委員会構成の紹介



	常任委員会				議会運営委員会(8)
	総務(8)	教育民生(8)	経済(7)	建設(7)	
委員長	松川卓司	丸茂郁生	瀬村尚央	中村豊	大西明子
副委員長	矢野匡亮	長岡辰久	田村博美	中村雅一	河合伸治
委員 (五十音順)	大西明子	石原真	小川安士	石本崇	石本崇
	貴船齊	越澤二代	片岡勝則	植野正則	片岡勝則
	桑田勝弘	武田伊佐雄	片山原司	桑原敏幸	貴船齊
	重岡邦昭	姫野敦子	河合伸治	藤重建治	広中信夫
	広中信夫	広中英明	藤本泰也	山本辰哉	藤本泰也
	細見正行	松本久次			松川卓司

※令和3年11月16日の市議会臨時会で選任されました。

議長・副議長の公式行事



令和3年12月12日

令和3年度岩国市スポーツ功労者等表彰式に出席をしました。
298名の方がスポーツ栄光賞、スポーツ優秀賞を受賞されました。



令和3年12月17日

全国市議会議長会基地協議会会長として令和4年度基地関連予算の要望活動をリモートにて実施いたしました。

《その他の行事》

- 令和3年11月25日 岩国錦帯橋空港クリスマスイルミネーション点灯式
- 令和3年11月26日 全国市議会議長会基地協議会中央要望(東京都、防衛省他)
- 令和3年11月26日 岩国2期成同盟会中央要望(東京都、国土交通省他)
- 令和3年11月26日 第18回岩国駅前ツリー祭イルミネーション点灯式

委員会審査報告

経済常任委員会・教育民生常任委員会・建設常任委員会・総務常任委員会

経済

委員長 瀬村 尚央
副委員長 田村 博美
委員 小川 安士・片岡 勝則
片山 原司・河合 伸治
藤本 泰也

委員 瀬村 尚央
副委員長 田村 博美
委員 小川 安士・片岡 勝則
片山 原司・河合 伸治
藤本 泰也



議案第122号 岩国市小売市場条例を廃止する条例について

問 廃止後の跡地活用の方向性についてどのように考えているのか伺う。

答 廃止後の活用については、現時点では明確な活用策は決まっていない。

今後、地元の皆様の御意見を伺いながら、様々な用途について検討してまいりたい。

問 現在、検討している中で具体的な方策があるのか伺う。

答 国から重要な文化的景観に選定されたことで、まち自体が町割も含めて文化財となり、制約があるため道路の幅や、付け足しをすることがままならないという状況であるため、具体案を申し上げる段階にはない。

問 今後、地域住民とのワークシヨップ等を重ねながら、

方向性を決めていくのか。

答 どのような形で地域住民の御意見を聞いていくかは、

具体的に決めていくわけではない。かなり制約がある地区であるため、今後、前提条件を情報共有しながら、しっかりと地域住民の声をまちづくりに生かせるよう検討してまいりたい。

結果 付託された案件については、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決した。

付託された案件については、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決した。



教育民生

委員長 丸茂 郁生
副委員長 長岡 辰久
委員 石原 真・越澤 二代
武田伊佐雄・姫野 敦子
広中 英明・松本 久次

委員 丸茂 郁生
副委員長 長岡 辰久
委員 石原 真・越澤 二代
武田伊佐雄・姫野 敦子
広中 英明・松本 久次



議案第108号 令和3年度岩国市一般会計補正予算（第8号）について

問 高齢者活き行きサポート事業に関し、交通弱者への活用の現状について伺う。

答 一部地域においては、タクシー事業者が少ないという意見も伺っている。地域の自働・互助による支援や、他の公共交通機関との組合せも考えていく必要がある。

評価委員会等において本事業を分析・評価した上で、限られた資源を活用しながら、高齢者の移動に資する策を検討していきたい。

問 前身の長寿支援タクシー料金助成制度から本事業に移行し、年齢要件が75歳以上に引き上げられたところであるが、その対象者については年齢だけで判断するのはなく、それぞれの事情や地域性も加味して、対象の範囲を段階的に広げていくべきではないか、問う。

答 評価委員会等において様々な意見を伺いながら、不公平感をなくすという考えの中で基準について慎重に検討していききたい。

問 放課後児童教室の現状について伺う。

答 放課後児童支援員の人材は不足しており、様々なところを通じて人材確保に努めているが、応募が少ないという現状である。現在、待機児童が発生している教室もあり、解消に向けて、今後も積極的に取り組んでいきたい。

問 地域の人材活用の視点から、各学校のコミュニティ・スクールや学校運営協議会などに働きかけ、地域の人材を発掘していく体制をつくることはできないか問う。

答 放課後児童支援員の確保をはじめ、放課後児童教室が抱える課題については、学校運営協議会等にも働きかけ、協力を得ながら、人材確保に努めていきたい。

問 放課後児童支援員の確保をはじめ、放課後児童教室が抱える課題については、学校運営協議会等にも働きかけ、協力を得ながら、人材確保に努めていきたい。

答 放課後児童支援員の確保をはじめ、放課後児童教室が抱える課題については、学校運営協議会等にも働きかけ、協力を得ながら、人材確保に努めていきたい。

問 放課後児童支援員の確保をはじめ、放課後児童教室が抱える課題については、学校運営協議会等にも働きかけ、協力を得ながら、人材確保に努めていきたい。

答 放課後児童支援員の確保をはじめ、放課後児童教室が抱える課題については、学校運営協議会等にも働きかけ、協力を得ながら、人材確保に努めていきたい。

12月23日の本会議で、各常任委員会の委員長から審査報告がありました。
 主な審査内容と結果を要約して掲載しています。

建設

委員長 中村 豊
 副委員長 中村 雅一
 委員 石本 崇・植野 正則
 桑原 敏幸・藤重 建治
 山本 辰哉



議案第116号 岩国市一般廃棄物処理施設設置条例の一部を改正する条例について

問 玖西環境衛生組合解散後は、真水苑の管理・運営を岩国市が承継するが、現在の岩国市のし尿、浄化槽汚泥の処理施設の現状及び処理能力について伺う。

答 みすみクリーンセンターは1日当たり129キロリットル、周東環境衛生組合の衛生センターは1日当たり120キロリットル、玖西環境衛生組合の真水苑は1日当たり28キロリットルの処理能力となっていて、いずれも処理能力の範囲内で処理している。
問 真水苑のし尿等の搬入停止の時期及び、停止後のほかの施設の受入れ能力はどのようになっているのか伺う。
答 真水苑は最大で令和9年度末までの操業期間となつて

いるが、搬入停止の時期については未定であり、停止後の処理については、他施設の処理能力を考慮し、集約処理できるように検討している。

議案121号 岩国市開発行為等の許可の基準に関する条例の一部を改正する条例について

問 規制区域における開発行為については全面的に禁止されるのか伺う。

答 近年、自然災害が激甚化、頻発化している状況で、災害リスクの高い区域の市街化の進展の防止等を図ることが必要であると考えられている。市街地を抑制すべき区域である市街地調整区域において開発行為を抑制することで被災リスクを減らすものであるが、規制区域において許可基準に適合している場合には、開発行為は可能である。

総務

委員長 松川 卓司
 副委員長 矢野 匡亮
 委員 大西 明子・貴船 齊
 桑田 勝弘・重岡 邦昭
 広中 信夫・細見 正行



議案第115号 岩国市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例について

問 過去の実績並びに今回の条例制定後の課税免除額の見込みについて伺う。

答 以前に実施された、岩国市過疎地域自立促進特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例による実績としては、平成18年度に4件、平成19年度に3件、平成20年度に4件、平成21年度に4件、平成22年度に4件、平成23年度に3件、平成24年度に3件となっている。

また、今回の条例制定後に、1,000万円程度の投資が3年間続いた場合の課税免除額としては、100万円程度を想定している。

問 数字的には根本的な過疎地域対策に至っていないと思

われるが、この制度が過疎地域の活性化につながるよう、どのように周知徹底していくのか。
答 ホームページ等で紹介したり、過疎地域にある、やましろ商工会に依頼して周知を行っていく。



3月定例会のお知らせ(予定)

2月22日(火)	本会議 (開会 議案等上程 説明 質疑 委員会付託)
3月4日(金)	本会議 (一般質問)
7日(月)	本会議 (一般質問)
8日(火)	本会議 (一般質問)
9日(水)	本会議 (一般質問) ※予備日
11日(金)	本会議 (一般質問) ※予備日
14日(月)	経済常任委員会
15日(火)	教育民生常任委員会
16日(水)	建設常任委員会
17日(木)	総務常任委員会
23日(水)	本会議 (委員長報告 質疑 討論 採決 閉会)

※会期日程は、変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

※傍聴については、市議会ホームページでお知らせします。



議場内に、心が和む「生け花」 ～12月定例会～

12月定例会一般質問の間、「専心池坊岩国支部」の方々に、「生け花」を生けていただきました。

花材 (黄金ヒバ、スプレーカーネーション、チーゼル、デンファレ、アンズリウム)



議会広報特別委員会
委員長 山本 辰哉
副委員長 矢野 匡亮
委員 山本 辰哉
副委員長 矢野 匡亮
委員 山本 辰哉

細見 正行
広中 英明
広中 信夫
中村 豊
中村 雅一
長岡 辰久
田村 博美
植野 正則
矢野 匡亮
山本 辰哉

副委員長 矢野 匡亮

う、発信してまいります。

また、岩国市議会議員一般選挙の日程が、10月23日(日曜日)投票日に決定しました。残りの任期1年を切りましたが、議会広報特別委員会においても、これまで以上に市議会活動の内容を、より多くの方にご理解していただけるよう、発信してまいります。

現在市役所6階にある本会議場は、音響システム等の老朽化に伴い工事中で、使用できない状態です。新しいシステムが構築された後、議会運営委員会で活用方法を検討していく予定です。

編集後記

目の不自由な方へ

いわくに市議会だより See 議会の音声データをご希望される方は、議会事務局にお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

発行/岩国市議会 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号 TEL(0827)29-5190 FAX(0827)21-1001
編集/議会広報特別委員会 印刷/フジ美術印刷株式会社 <https://iwakunishigikai.jp>



古紙パルプ配合率
70%再生紙を使用

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

いわくに市議会だより 令和4年(2022年)2月1日号